

## 鹿児島県道徳研究大会を終えて

11月30日（金）に本校で道徳の研究会が行われ、3年生と6年生が授業公開しました。参加された方々から本校の道徳科の授業についてたくさんの御意見をいただきました。今後の本校の道徳教育に生かしていきたいと思っております。



### 【3年生授業】

子どもたちの活発な意見交換が素晴らしい。

子どもたちの意識が最後まで持続し、一人一人自分なりに考えていた。

子どもたちが精一杯考え、自分の意見を考え伝えようとしていた。

子どもたちが、自分たちで話し合っ、意見が変わることもあるというのが興味深かった。

活発な意見やつぶやきがあり、楽しい授業であった。



### 【6年生授業】

子どもたちが自分の意見をたくさん発表できる雰囲気がとても素晴らしい。

しっかりと自分の意見が伝えられる子どもたち、大変素晴らしい。

子どもたちはじっくり自分の心と向き合うことができたのではと思いました。

子どもたちの表情がみんな穏やかであった。

子どもたちがしっかり考え、友達と交流しながら自分の考えを深めている姿に感心しました。

## 6年生の授業より



こんな学習をしました

「ブランコ乗りとピエロ」という教材を使って「相手と考えが合わないときの心のもち方」を学習しました。

<ねらい>

人を許すことの難しさや受け入れるときの様々な考え方を話し合う活動を通して、自分と異なる意見や立場でも広い心で尊重しようとする心情を育てる。

教材の内容

サーカスのリーダーであるピエロは、自己中心的な振る舞いをするブランコ乗りのサムに腹を立てていました。しかし、必死に頑張るサムの姿に接し、広い心と謙虚さを取り戻します。サムは身勝手なところもあるが、誰よりも真摯に演技に向き合っていることに気付いたピエロは、サムを受け入れ、サーカス団の一員であることを諭します。

「ブランコ乗りサムのことをどう思いますか。」

- ・ 自分勝手
- ・ 目立ちたがり屋
- ・ 他のサーカス団のことを考えていない。

「自分がピエロと同じ立場だったらブランコ乗りサムの態度は許せるだろうか。」

<許せない>

- ・ 約束は守らないといけないものだから。
- ・ 周りのことも考えていないから。

<許せる>

「ピエロの心からサムを憎む気持ちが消えたのはどんな考えが出てきたからだろう。」

- ・ サムも夢中になって頑張っていたんだ。
- ・ 目立ちたいと自分勝手になっていたのは自分も同じだったのかもしれない。
- ・ 団員・お客さんのためにもサムを許し、協力し合うべきだ。



交流の様子



【考えを伝え合い、深めよう】  
お互いの意見の似ているところをまとめたり、意見が違うときにはそれを取り入れたり、違いについて話し合ったりしました。

《子どもの振り返りより》

「学習して考えたことや気づいたことはありますか。」

- ・自分のことだけを主張せず、平等に話し合えるようにしたい。
- ・周りの雰囲気が悪くなってしまうので、言い合いを続けるだけになりそうだったら、自分のことも振り返りたい。
- ・相手のことを認めて協力するとみんなが明るくなるんじゃないかな。
- ・相手と自分の考えを組み合わせることで、より良い考えが生まれてくるのではないかな。

家庭でも考えよう

この期の子どもたちは、自分のものの見方や考え方についての認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになります。一方で、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっています。そこで、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重するよさに気づき、よりよい生活ができるといいですね。

